

平成24年度第2回二次電池セミナー

技術講演会開催のご案内

主催 愛知県
後援 公益財団法人科学技術交流財団
愛知工研協会

低炭素化社会の実現やエネルギー事情の大きな変化を受け、二次電池・蓄電デバイスへの社会的関心がこれまでになく高まっており、グリーンイノベーションの中心的課題として二次電池の研究が活発に進められています。

このたび、県では県内の二次電池関連産業の振興を図ることを目的に、今年度2回目となる二次電池セミナーを開催します。

本セミナーでは、民間企業の研究者より、大規模電力貯蔵技術およびその国内外の動向と具体例を紹介していただくとともに、公的試験研究機関の研究者より、二次電池の役割や技術的課題とポストリチウムイオン電池の開発状況などについて解説していただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成25年1月22日(火) 13時30分から16時30分まで

【場 所】愛知県技術開発交流センター（産業技術センター内）
交流会議室
刈谷市恩田町1丁目157番地1

【プログラム】

講演1【13:30～15:00】

「大規模電力貯蔵技術の動向とNaS電池」

日本ガイシ株式会社 NAs事業部管理部 マネージャー 渥美 淳 氏

再生可能エネルギーの進展と将来の電力ビジョンの再構築が社会的な重要課題となり、蓄電池や電力貯蔵についても普段の会話に上るようになりました。しかし、電力貯蔵の必要性が叫ばれているのに対し、どのように使うのか、またどのようなメリットが期待できるのかは、明確な説明はあまりされていません。本講演では、大規模電力貯蔵に関する国内外の動向を概観するとともに、その具体例としてNaS電池の技術と応用について紹介します。

講演2【15:00～16:30】

「二次電池の環境調和型社会への貢献と課題」

独立行政法人産業技術総合研究所 関西センター
ユビキタスエネルギー研究部門長 小林 哲彦 氏

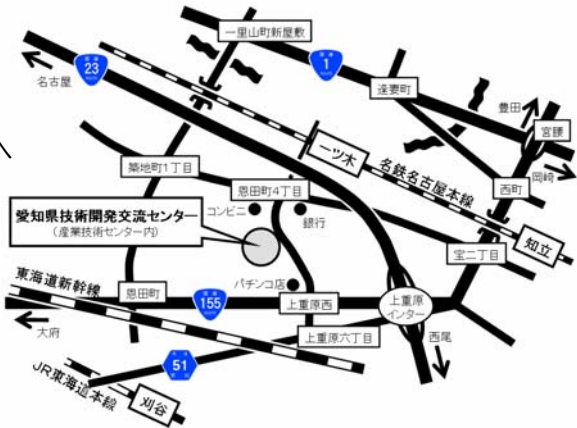
二次電池（蓄電池）は、モバイル情報通信機器の長時間動作を支える重要な要素技術であると同時に、電気自動車や再生可能エネルギー（太陽光・風力発電）導入にも大きな役割を果たすことが期待されています。環境調和型技術としての二次電池の役割や技術課題、新型電池の開発状況について概説するとともに、競争が激化するリチウムイオン電池産業の動向についても説明します。

- 申込方法 下記の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。受講票は発行しません（特に連絡がない場合はご参加いただけます）。
- 申込期限 平成25年1月18日（金）なお、定員(80名)になり次第締め切らせていただきます。

■受講料 無料

■交通のご案内

- 電車をご利用の場合
名鉄一ツ木駅（普通のみ停車）より南（郵便局方面）へ800m、徒歩10分
名鉄知立駅より約2.0km、タクシー10分
JR刈谷駅より約2.5km、タクシー12分
- 車をご利用の場合
駐車場：約200台駐車可能（無料）



■問合せ先

- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 化学材料室
松原 TEL (0566) 24-1841
- 愛知県 産業労働部 産業科学技術課 技術振興第一グループ
河瀬 TEL (052) 954-6350

平成24年度 第2回二次電池セミナー申込書

平成 年 月 日

申込先 産業技術センター FAX 0566-22-8033

ふりがな			
貴社名			
所在地	〒	TEL	
		FAX	
ご所属	ご氏名	メールアドレス	センターニュースの新規配信ご希望の場合はチェックをして下さい
			☐
			☐
			☐

※お申込みいただいた宛先に、講習会などの案内をお送りすることがありますが、送付を希望されない場合は下記の口をチェックをご記入願います。

☐案内送付を希望しない